

## あとがき

私にとってサルコイドーシスと言えば、学生時代に習った両側肺門部リンパ節腫脹程度の知識で止まったままですし、呼吸器系のサルコイドーシスの患者さんをそれほど多く診療した経験はありません。しかし、脳神経内科という立場では、神経系サルコイドーシスはさまざまな場面で重要です。

本号は、サルコイドーシスの特集です。多くのテキストでは、「神経サルコイドーシス」ということで一括されて書かれることが多いのですが、ここでは脳、脊髄、末梢神経、筋と部位ごとに詳しく書かれています。興味のあるところだけでなく、ぜひすべてに目を通していただきたいと思います。また、画像、治療について最新の情報がまとめられています。サルコイドーシス自体、ものすごく多い疾患ではありませんが、脳に限ってみれば、髄膜炎、髄膜癌腫症、悪性リンパ腫、真菌感染などを鑑別しなければならず、診断が容易ではありません。そもそも鑑別診断のリストにサルコイドーシスを忘れてしまいそうになります。本誌を読んだ後は、サルコイドーシスを積極的に診断できるようになれると思います。

ところで、COVID-19 のパンデミックの中、われわれの生活スタイルも変化を求められています。本誌をお読みになられている皆様も、職種によっては大きな変化を経験されている方もいらっしゃると思います。特に、会議と言えば Zoom というくらい、最近は日々 Zoom の生活になりました。どこからでも参加できるのでとても便利ですし、症例カンファレンスでは後ろのほうから前方のスクリーンを見るよりも自分のディスプレイで明瞭な画像が見られるので、学生時代から後ろ

に座る癖の抜けない私には、とってもよいシステムであります。例年 6 月に開催される米国神経病理学会も今年は完全なバーチャル学会になりましたが、プログラム構成は例年と同じです。口演の質問はチャットで行うこと、ポスターには録音した音声を使用してもよいなど、それはそれで面白そうです。時差だけはどうしてもならないので、どこまで参加できるかは未知数ですが、また機会があれば報告いたします。

そう言えば、“Nature” にも “How scientific conferences will survive the coronavirus shock” という記事が出ていました。バーチャル学会のほう、参加者も多く、発表への質問内容も質が高くなったということもあるようです。日本の国内の学会に目を向けても、会期が 4 日間もあるとすべてに出席はできなかつたり、人気のある口演では座ることができなくて諦めたりするということもありましたが、バーチャルなら、業務の合間に接続したり、会場の混雑も気にしなくてもよさそうです。もちろん 1 か所に集まる学会にもよいことはたくさんありますが、いろいろな形式があってもよい時代なのだと思います。

先日、ある国際学会の委員会（もちろん Zoom 会議です）、アルゼンチンの先生が、「こういう時代こそ新しいオンライン教育コースやシステムをつくって、会員以外にも発信しよう」とたいへん前向きに言われており、ほかの委員も盛り上がっていました。ご本人はラテンの気質だと言われてましたが、たいへん元気付けられた次第です。本誌が出る頃は、暑い暑い日々が続いているかと思います。皆様、お体に気を付けてお過ごしください。（高尾昌樹）

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 編集顧問  |       |  |
| 生田 房弘 | 石塚 典生 |  |
| 糸山 泰人 | 内山真一郎 |  |
| 大友 英一 | 梶 龍兒  |  |
| 河村 満  | 桑原 聡  |  |
| 高坂 新一 | 作田 学  |  |
| 杉田 秀夫 | 辻 省次  |  |
| 寺本 明  | 中里 洋一 |  |
| 中込 忠好 | 彦坂 興秀 |  |
| 平山 恵造 | 藤澤浩四郎 |  |
| 真柳 佳昭 | 水澤 英洋 |  |
| 水野 美邦 | 森 啓   |  |
| 柳澤 信夫 |       |  |

|       |        |  |
|-------|--------|--|
| 編集委員  |        |  |
| 神田 隆  | (編集主幹) |  |
| 酒井 邦嘉 | 下畑 享良  |  |
| 高尾 昌樹 | 三村 将   |  |
| 虫明 元  |        |  |

|       |        |  |
|-------|--------|--|
| 編集同人  |        |  |
| 入来 篤史 | 岩田 淳   |  |
| 宇川 義一 | 内原 俊記  |  |
| 大隅 典子 | 岡部 繁男  |  |
| 木村 和美 | 久保 義弘  |  |
| 栗栖 薫  | 小林 靖   |  |
| 斉藤 延人 | 砂田 芳秀  |  |
| 高橋 良輔 | 瀧山 嘉久  |  |
| 武田 伸一 | 千葉 厚郎  |  |
| 平田 幸一 | 寶金 清博  |  |
| 星 英司  | 星野 幹雄  |  |
| 本田 学  | 松野 彰   |  |
|       | (五十音順) |  |

オンライン投稿  
ID : brain PW : nerve

本誌は MEDLINE に  
収載されており、掲載論文は  
PubMed で検索可能です。

BRAIN and NERVE 第 72 巻第 8 号

2020 年 8 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 : 本体 2,700 円 + 税 (送料実費)

2020 年年間購読料 (送料弊社負担・本体価格)

冊子版 34,080 円

電子版/個人 34,080 円

冊子 + 電子版/個人 39,080 円

ご購入に関するお問い合わせ先 (販売部直通)

TEL 03-3817-5659 FAX 03-3815-7804

印刷所

(株) アイワード TEL 011-241-9341

広告申込

(株) ハイブリッジエージェンシー TEL 03-3814-0089

◆本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

◆本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者などの第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】 (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構 (TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

◆「BRAIN and NERVE」は株式会社医学書院の登録商標です。

発行 株式会社医学書院  
代表者 金原 俊

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

編集室直通

TEL 03-3817-5701

FAX 03-3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/

mag/bn

担当 : 小路・小段・前野

Published by IGAKU-SHOIN

Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku,

Tokyo ©2020, Printed in Japan